

くまがわ明日の川づくり報告会 アンケートのご意見に対する回答

平成19年5月14日(月)の球磨村神瀬地区を皮切りに、「くまがわ・明日の川づくり報告会」を実施しました。

同報告会は53箇所で開催し、延べ1,480人の方々にお集まり頂き、球磨川水系河川整備基本方針の内容や小委員会等での審議の状況についてご報告いたしました。

同報告会の中で十分にご発言できなかった方には、同報告会でお配りしたアンケートの自由記入欄にご意見等をご記入いただいたところです。アンケートにご記入いただいたご意見等並びにご意見等への回答のうち、〈球磨川の環境〉に関するものについては下記のとおりです。(順不同)

〈球磨川の環境〉

地区	アンケートにご記入いただいた主なご意見・ご質問	ご意見・ご質問への回答
上流地区	サイクリングロードが開通し、これから川の利用を考えねばならないが、途中の公園で涼むとき、もう少し川の水が綺麗であればよいと思う。	球磨川の水質を悪化させている原因として人々の生活スタイルの変化など様々な要因があると考えられることから、下水道等の事業を行っている地元市町村のみならず、水質への意識向上の観点から地域住民とも連携を図りながら、国土交通省としても水質の保全・改善に努めていく考えです。
上流地区	水質を浄化する事業の実施を要望する。	球磨川の水質を悪化させている原因として人々の生活スタイルの変化など様々な要因があると考えられることから、下水道等の事業を行っている地元市町村のみならず、水質への意識向上の観点から地域住民とも連携を図りながら、国土交通省としても水質の保全・改善に努めていく考えです。
上流地区	BODの数値からみた水質は良くなっているとのことであるが、水の澄み具合や川石は綺麗であるとは思えない。昭和50年代は球磨川でよく泳いでいたが、その時より汚いのは何故か。市房ダムがあるからと世間で言われるが、その時は既にダムはあった。調査してみてもどうか。	球磨川の水質を悪化させている原因として人々の生活スタイルの変化など様々な要因があると考えられることから、下水道等の事業を行っている地元市町村のみならず、水質への意識向上の観点から地域住民とも連携を図りながら、国土交通省としても水質の保全・改善に努めていく考えです。
上流地区	ダムに頼らない気持ちである。自然が大切、鳥も魚も生きていける安心な球磨川であることを願う。	ご指摘のとおり、国としましても、安全で良好な環境を有する球磨川に一步でも近づけるよう、今後とも努力してまいります。なお、ダムなどの具体的な施設の整備については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなりますので、いただいたご意見はその際の参考とさせていただきます。
上流地区	夏場でも水量をもう少し多めに流してほしい。魚が棲める水量に戻してほしい。	球磨川上流区間の流量が少ないことについては、関係者が問題認識を共有し、安定的な水利用と河川環境の調和のために知恵を出していく必要があると考えており、今後の課題と認識しております。
上流地区	球磨川の水量をもっと多くしてほしい。ヘドロが沢山あるし、川の水が濁っている。	球磨川上流区間の流量が少ないことについては、関係者が問題認識を共有し、安定的な水利用と河川環境の調和のために知恵を出していく必要があると考えており、今後の課題と認識しております。

上流地区	外来魚等への対策を早々に実施してほしい。	外来生物は在来生物への影響が懸念されることから、関係機関と連携し、適切な対応を行っていく必要があると考えています。
上流地区	中鶴橋から王宮橋間の球磨川に水制の設置や護岸改良をし、環境や利用面でよくなるようにしてほしい。	住民の方々のご意見をお伺いしながら、良好な自然環境の保全に加え、川や自然とのふれあいや河川利用の場の整備について、地元市町村とも連携して検討していきたいと考えています。
人吉周辺地区	泳げる川、魚の棲む川に再生してほしい。	昔の川のように戻すことは、なかなか難しいことだと思いますが、少しでも昔の川の姿に近づけるように、関係機関及び流域住民の方々とも連携して環境の改善に努めていきたいと考えておりますのでご協力をお願いいたします。
人吉周辺地区	人吉は観光で成りたっている街であり、観光の目玉は、アユと球磨川下りである。このような観光資源をいつまでも持続できるよう、河川を守るような整備をしてほしい。	球磨川のアユに代表される魚類は、この地域のシンボルになっていると認識しています。このことを踏まえ、河川管理者としても、現在ある良好な瀬や淵の保全や、十分に機能していない魚道の改良など、関係機関と連携しつつ、生息・繁殖環境の改善に努めることとしています。
人吉周辺地区	万江川に農業用の堰があるが段差が大きい。何とかできないものか。	【熊本県回答】 万江川にはいくつかの堰があるため、現地を確認のうえ検討・判断したいと思います。具体的な場所を県にご連絡ください。
人吉周辺地区	下流にあるダムに大きな魚道を整備してほしい。	球磨川は平成5年に「魚がのぼりやすい川づくり推進モデル事業」に指定され、堰、ダムなどの河川横断工作物に魚道の新設又は改築を行い、一定の効果が見られているところですが、うまく機能していない魚道もあることから、関係機関とも連携しつつ改善に努めていきたいと考えています。
人吉周辺地区	瀬戸石ダムに土砂をはき出す穴を設置してほしい。	瀬戸石ダムのダム湖に堆積している土砂については、ダムを管理している電源開発(株)において、土砂撤去の検討を行っているところと聞いています。
人吉周辺地区	水質について、科学的に検査してほしい。水遊びができる水質かどうか知りたい。鳩胸川の上流に牧場があり、降雨時に黒く濁った水が流れていたことがあった10年くらい前にあったので不安をもっている。	球磨川では水質調査を毎月実施しており、近年はBODなどの水質指標では、環境基準値以下で比較的良好な水準で推移している状況ですが、昔の球磨川の状態にはほど遠い状況であることは多くの住民の方々からご指摘いただいているところです。子供達が安心して遊べるような球磨川となるよう、今後も関係機関や住民の方々とも連携して、河川環境の保全・再生に努めてまいりたいと考えています。

人吉周辺地区	川辺川の上流にある砂防ダムなどが、川の水を汚していると思うので対策をお願いしたい。	近年の台風による豪雨で山腹崩壊が発生して大量の土砂が河川内に流入し、砂防ダムのある箇所・ない箇所にかかわらず川の濁りが発生しています。山腹崩壊に伴う河川内への土砂流出による濁水対策は、河川管理者のみならず、林野庁、熊本県等の関係機関が情報を共有し、連携して対策を進めていく必要があると考えています。
人吉周辺地区	外来種のなかでニゴイは、鮎を捕食するので駆除してはどうか。	外来生物は在来生物への影響が懸念されることから、関係機関と連携し、適切な対応を行っていく必要があると考えています。
人吉周辺地区	自然を活かした整備を進めてほしい。	ご指摘のとおり、河川の良好な自然環境を保全しつつ、それらを活かした河川整備を進めていきたいと考えています。
人吉周辺地区	中小河川で実施されている三方をコンクリートで固める工事はやめていただきたい。魚類が棲めない。	過去の河川改修により、生物の生息環境に影響を与えた箇所もあると考えられることから、近年では生物の生息環境にも十分配慮して、河川改修を実施しているところです。今後も関係機関や住民の方々と連携して、生物の生息環境の保全に努めていきたいと考えています。
人吉周辺地区	コンクリートだけでなく、木々を植樹して自然の景観になるよう工夫してほしい。	良好な景観の維持・形成や自然環境の保全等の観点から、洪水を安全に流す上で問題とならない樹木等については、できる限り保全していきたいと考えています。また、堤防の厚みに余裕がある箇所等においては、樹木を植えることが可能な場合もありますので、具体的なお要望がありましたら、事務所もしくは出張所までお問い合わせ下さい。
人吉周辺地区	川辺川合流点の上流の瀬や淵が消失している。出水の度に水の流れが変わっている。瀬が浅くなっている。	近年の台風等による豪雨で山腹崩壊が発生して大量の土砂が河川内に流入していることが要因のひとつであると考えられます。土砂の堆積により、洪水を安全に流すうえで支障になると判断される場合には、自然環境にも配慮しつつ、土砂の撤去を検討していくこととなります。
人吉周辺地区	子どもたちが夏の時期、泳いだり、釣りをしたりできるような河川環境がほしい。	子供達が安心して遊べるような球磨川となるよう、関係機関や住民の方々と連携して、川づくりに努めてまいりたいと考えています。

人吉周辺地区	上流に住む人が下流の海に魚釣りに訪れ、下流に住む人が自然を求めて山に訪れるようなことがよいと思う。地球全体の環境を大事にする時がきた。日本は先進国であるので、日本から自然を守る取り組みを発信してほしい。	ご指摘のとおり、球磨川のみならず八代海の環境保全のためには、球磨川流域の上下流の関係機関や住民の方々が連携して取り組んでいくことが重要であると考えております。国土交通省としても流域連携が促進されるよう努めていきたいと考えています。
中流地区	今よりも綺麗な球磨川になり、魚などが沢山棲め、早く安心して住めるような川にしてもらいたい。ダムができると川が汚くなると言われている。	今よりも少しでも良好な河川環境になるように、関係機関及び流域住民の方々と連携して環境の改善に努めていきたいと考えていますのでご協力をお願いいたします。
中流地区	魚道の改善をしてほしい。	球磨川は平成5年に「魚がのぼりやすい川づくり推進モデル事業」に指定され、堰、ダムなどの河川横断工作物に魚道の新設又は改築を行い、一定の効果が見られているところですが、ご指摘のとおり、うまく機能していない魚道もあることから、関係機関とも連携しつつ、改善に努めていきたいと考えています。
中流地区	鮎の遡上が自然にできるような、球磨川にしてもらいたい。	球磨川は平成5年に「魚がのぼりやすい川づくり推進モデル事業」に指定され、堰、ダムなどの河川横断工作物に魚道の新設又は改築を行い、一定の効果が見られているところですが、うまく機能していない魚道もあることから、関係機関とも連携しつつ、改善に努めていきたいと考えています。
中流地区	魚類が少なくなっているの、魚が多く生息する川づくりをしてほしい。	国としてもアユ等の魚類の生息環境の改善に向け、関係機関と連携して取り組んでいきたいと考えています。
中流地区	球磨川の鮎はただの鮎ではない。大鮎であることを知ってもらいたい。そのような河川環境を保全してもらいたい。	ご指摘のとおり、球磨川では「尺アユ」と称される大型アユが生息しており、「大鮎釣り選手権大会」が行われるなど鮎がこの地域のシンボルになっていると認識しています。河川環境の保全に努めるとともに、関係機関と連携して生息場・産卵場となる瀬の再生などアユの生息にも配慮した川づくりを進めていく考えです。
中流地区	鮎の産卵場を増やしてほしい。	・アユ等の産卵場となっていた良好な瀬が消失している箇所もあることから、産卵場となる瀬の再生に努めていきたいと考えています。その際には、漁協や熊本県の水産部局等と連携して進めていきたいと考えています。

中流地区	水の綺麗な球磨川になるよう努力してほしい。球磨川の鮎、ウナギを全国にアピールできるようにしてもらいたい。	今よりも少しでも良好な河川環境になるように、関係機関及び流域住民の方々と連携して環境の改善に努めていきたいと考えていますのでご協力をお願いいたします。
中流地区	球磨川で泳いだことはありますか。データで報告されるのは当然ですが、何をされたいかわからない。	球磨川では水質調査を毎月実施しており、近年はBODなどの水質指標では、環境基準値以下で比較的良好な水準で推移している状況ですが、昔の球磨川の状態にはほど遠い状況であることは多くの住民の方々からご指摘いただいているところです。子供達が安心して遊べるような球磨川となるよう、今後も関係機関や住民の方々と連携して、河川環境の保全・再生に努めてまいりたいと考えています。
中流地区	清流球磨川を取りもどしてほしい。私たち住民がどういう川づくりをするかを今まで以上に考えるときだと思う。	昔の川のように戻すことは、なかなか難しいことだと思いますが、少しでも昔の川の姿に近づけるように、関係機関及び流域住民の方々と連携して環境の改善に努めていきたいと考えていますのでご協力をお願いいたします。
中流地区	魚の産卵場が無くなり、砂浜が無くなるため、球磨川の上流域の砂防施設の撤去をお願いしたい。	ご指摘のような問題に対しては、河川の源流部の山地、河川、そして海と流域で一貫した土砂の管理が必要であると考えています。このためには、国土交通省だけでなく、熊本県など関係機関と協力して取り組んでいく必要があると考えています。
中流地区	球磨川は流れる川でなければならない。流れがないような球磨川は綺麗にはならない。	関係機関と連携して、河川環境の保全に必要な流量の確保に努めていく必要があると考えています。
中流地区	自然を壊す権利は誰にもない。自然環境は今後も大事にし、子どもや孫の代に残さねばならない。	ご指摘のとおり、今後の河川整備にあたっては、良好な河川環境の保全に努めていきたいと考えています。
中流地区	ダムができる前は魚類が豊富な川であった。昔の球磨川を再生することを希望する。	昔の川のように戻すことは、なかなか難しいことだと思いますが、少しでも昔の川の姿に近づけるように、関係機関及び流域住民の方々と連携して環境の改善に努めていきたいと考えていますのでご協力をお願いいたします。
中流地区	魚が沢山いるような川づくり、次世代に誇りを持って継承できるような川づくりを希望する。	国としてもアユ等の魚類の生息環境の改善に向け、関係機関と連携して取り組んでいきたいと考えています。また、今後の河川整備にあたっては、良好な河川環境の保全に努めていきたいと考えています。

中流地区	清流球磨川、恵みの川とは、漁業資源としての観点も必要である。地域に住む人は球磨川が誇りであってほしい。	ご指摘のとおりだと思います。 国としてもアユ等の魚類の生息環境の改善に向け、関係機関と連携して取り組んでいきたいと考えています。
中流地区	球磨川に昔からいた鮎が少ない。	国としてもアユ等の魚類の生息環境の改善に向け、関係機関と連携して取り組んでいきたいと考えています
中流地区	球磨川の水質汚濁は家庭からの排水に原因があると思う。	ご指摘のとおり、球磨川の水質を悪化させている原因として人々の生活スタイルの変化など様々な要因があると考えられることから、下水道等の事業を行っている地元市町村のみならず、水質への意識向上の観点から地域住民とも連携を図りながら、国土交通省としても水質の保全・改善に努めていく考えです。
中流地区	ダムや堰ができたことで球磨川の水が汚くなった。	球磨川の水質を悪化させている原因として人々の生活スタイルの変化など様々な要因があると考えられることから、下水道等の事業を行っている地元市町村のみならず、水質への意識向上の観点から地域住民とも連携を図りながら、国土交通省としても水質の保全・改善に努めていく考えです。
中流地区	魚や蜚がいなくなった。人と川との触れあいが無くなった。瀬や淵が無くなった。	昔の川のように戻すことは、なかなか難しいことだと思いますが、少しでも昔の川の姿に近づけるように、関係機関及び流域住民の方々と連携して環境の改善に努めていきたいと考えていますのでご協力をお願いいたします。
中流地区	蜚が舞うような昔の川にしたい。自分たちで努力もしたい。ハヤなどの魚が自由に釣ることができるようにならないか。	昔の川のように戻すことは、なかなか難しいことだと思いますが、少しでも昔の川の姿に近づけるように、関係機関及び流域住民の方々と連携して、河川環境の改善に努めてまいりたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。
八代地区	自然を大切にし、100年後200年後まで害がない川づくり進めてほしい。	ご指摘のとおり、今後の河川整備にあたっては、良好な河川環境の保全に努めていきたいと考えています。
八代地区	魚道がある昔の遙拝堰に戻してほしい。	遙拝堰にも魚道は整備されていますが、ご指摘のとおり、川の流量が少ない時などに魚道がうまく機能していないことがありますので、今後、関係機関と連携をとりつつ改善していきたいと考えています。
八代地区	例えば金剛橋下流の中州など、ヨシ原が減少しているのでヨシ原の再生に取り組んでほしい。	今後の河川整備にあたっては、良好な自然環境の再生、保全に努めていきたいと考えています。

八代地区	住民の安全確保と自然環境の保全を両立させることは難しいことと思うが、せめて生き物が沢山棲めるような川づくりをお願いしたい。	ご指摘のとおり、自然環境をできる限り保全しつつ、一方で治水安全度についても高めていくという治水と環境等の兼ね合いを考慮しながら、河川整備を実施していきたいと考えています。
八代地区	河床の環境が全川において悪化している。魚の目線で環境を考えてほしい。	ご指摘のとおり、今後の河川整備にあたっては、魚類などの生息に十分考慮したうえで、進めていきたいと考えています。
八代地区	アユの産卵場を整備してほしい。	アユ等の産卵場となっていた良好な瀬が消失している箇所もあることから、産卵場となる瀬の再生に努めていきたいと考えています。その際には、漁協や熊本県の水産部局等と連携して進めていきたいと考えています。
八代地区	生活排水が流れ込まないように下水道整備を急いでほしい。農薬の流入、工場排水の規制も厳しくしてほしい。	球磨川の水質を悪化させている原因として人々の生活スタイルの変化など様々な要因があると考えられることから、下水道等の事業を行っている地元市町村のみならず、水質への意識向上の観点から地域住民とも連携を図りながら、国土交通省としても水質の保全・改善に努めていく考えです。
八代地区	これ以上、川をせき止めることがないようにしてほしい。ヘドロで海を汚したくない。	今よりも少しでも良好な河川環境になるように、関係機関及び流域住民の方々と連携して環境の改善に努めて参りたいと考えています。
八代地区	水質浄化に対する関心を高めるための取り組みを実施してほしい。	球磨川の水質を悪化させている原因として人々の生活スタイルの変化など様々な要因があると考えられることから、下水道等の事業を行っている地元市町村のみならず、水質への意識向上の観点から地域住民とも連携を図りながら、国土交通省としても水質の保全・改善に努めていく考えです。
八代地区	平和町や鼠蔵町では飲料水が塩害化しているが何とかならないか。河川との関係があると思う。	まずは実態について、八代市の方に確認させていただければと考えています。
八代地区	干潟とヨシ原を守ってほしい。	干潟、ヨシ原等の河川に存在する良好な自然環境については、できるだけ保全に努めていく考えです。
八代地区	せせらぎ水路の水量が少ないため、水がよどみ汚くなっている。	ご指摘も踏まえ、せせらぎ水路の管理者である八代市と調整していきたいと考えています。

八代地区	川づくりは山から海へ、人から自然へという広い視野をもって考えてほしい。	ご指摘のとおりだと思います。 我々も肝に銘じて、河川行政を進めていきたいと考えています。
八代地区	川を汚さないために、山での植林や各家庭からの排水について、みんなが考えるように広報活動をもっとしたいし、もっとしてほしい。	ご指摘のとおり、球磨川のみならず八代海の環境保全のためには、球磨川流域の上下流の関係機関や住民の方々が連携して取り組んでいくことが重要であると考えております。国土交通省としても流域連携が促進されるよう努めていきたいと考えています。
八代地区	人間の都合で自然をいじりまわさないでほしい。	ご指摘のとおり、今後の河川整備にあたっては、良好な河川環境の保全に努めていきたいと考えています。
八代地区	不法投棄等が行われており地域住民が迷惑している。	不法投棄については、巡視や監視カメラの設置などの対策をとっているところですが、引き続き、地元市町村等と連携して、取り組んでいきたいと考えています。もし、不法投棄を見つけられましたら、事務所もしくは出張所までご連絡いただければ幸いです。
山鹿・熊本 ・八代	50年間で破壊した球磨川流域を復元してほしい。それが出来ない場合には被害対策を実施してほしい。	昔の川のように戻すことは、なかなか難しいことだと思いますが、少しでも昔の川の姿に近づけるように、関係機関及び流域住民の方々と連携して環境の改善に努めてまいりたいと考えておりますのでご協力をお願いいたします。

※ アンケートにご記入いただいたご意見等をそのまま掲載するのではなく、趣旨を変えない程度にまとめさせていただいています。

※ 誹謗中傷するようなご意見等については掲載しておりません。